

住宅向屋外製品開発支援

庭に向けた製品開発

藤 靖之、江口 佳孝
佐賀県窯業技術センター
有田エクステリア研究会

ここ数年、エクステリア大手は、半屋外製品に注力しているところである。これらは、居住空間を外へと広げる取り組みである。新しい空間ができたところで、市場からは庭に向けた製品の展開が要望されている。この空間に向けた製品の拡充は喫緊の課題である。そこで、有田エクステリア研究会に製品開発支援を行った。

The support of the development for residential exterior products

The development for the garden products.

Yasuyuki FUJI, Yoshitaka EGCHI
Saga Ceramics Research Laboratory
Arita exterior workshop

In recent years, large exterior product manufacturers are focusing on developing semi-outdoor products. This approach spreads living space to outdoor. The market requires new garden products for those new spaces. The product development for there is urgent issues. We have supported Arita exterior workshop on garden products development.

1. はじめに

有田エクステリア研究会では、数年来住宅向屋外製品、主にエントランス周りの景観材等を中心に製品展開の取り組みを行ってきた。更なる取り組みとして、製品拡充を目指し庭周りの製品展開に着手したところである。

本支援事業では、主に個人住宅向けの庭周り景観材製品の開発支援を行った。

2. 支援内容

2.1 製品開発

2.1.1 植木鉢

数年前からの研究会での懸案であった、和の植木鉢の製作に着手した。

盆栽は、欧州でのニーズが高まりつつあり、海外での需要が増えている状況である。

しかし、鉢の流通はそれほど確立された経路が無く、消費地(中間ユーザー、国内)での販売形態確立を模索しているところである。28年度は、アイテムの選定を行い、29年度の展示会等に向けた製品開発を行った。



図1 白磁盆栽鉢プロトタイプ。



図2 唐津系盆栽鉢プロトタイプ。



図3 5号鉢のCAD画像

2.1.2 バードバスの製作

25～27年度において関西地区のガーデンデザイナーによる助言と意見交換を基にバードバスの試作を行った。

バードバスは、単に小鳥の水浴びということが機能ではなく、庭のアイストップとしてデザイン展開の中に用いられる。更なるバリエーションの拡充が期待されている。



図4 CADによる捨て型データ.



図7 現行の白磁バードバス.

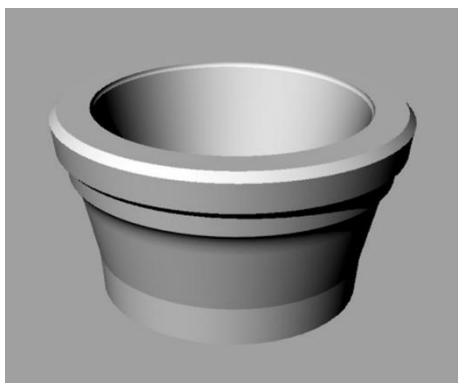


図5 CADによる捨て型データ.



図6 5号鉢の量産型.

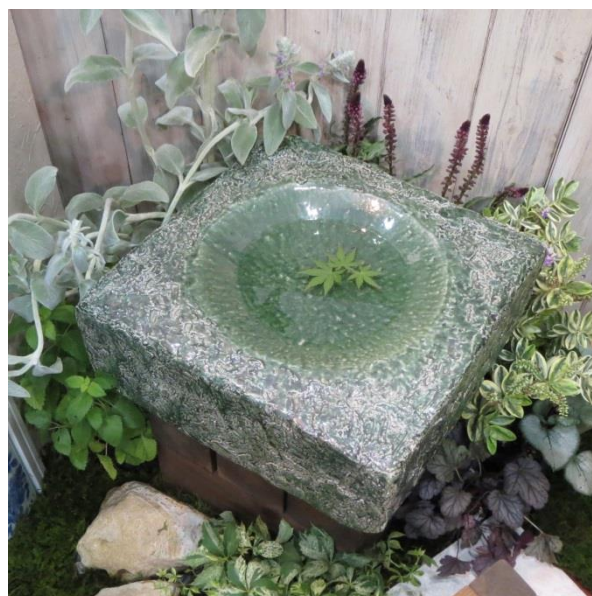


図8 磁芸のバードバス 岩尾磁器工業株.



図9 CADによる現行物のデータ.

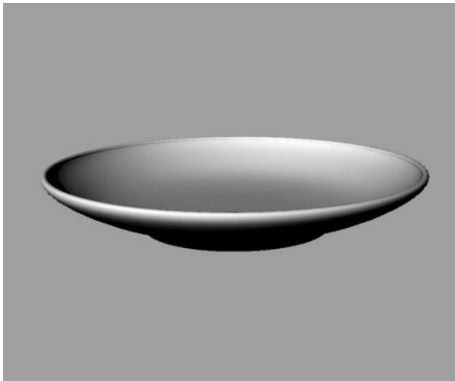


図10 CADによる試作データ.



図11 CADによる試作データ.

これを受け球体の噴水の形状、性能の状態を探るため、試作を行った。

チェルシーフラワーショー2017への現物出展の可能性があるので、スリットのモチーフは、和の植物のイメージを持たせるため「トクサ」を用いた。



図12 トクサ文様のスリットを施した生地.

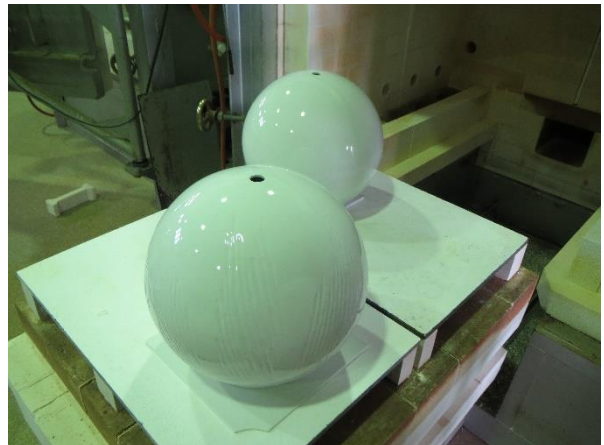


図13 手洗いファウンテン焼き上げ現物

2.1.3 作業療法のための手洗いファウンテンの製作

Team SAGA(チェルシーフラワーショー出展チーム)代表 野田珠光氏(花水木コーポレーション代表)が、現在西九州大学で講師として作業療法のための庭作りに取り組んでおり、肢体弱者のための手洗いファウンテンの提案を有田エクステリア研究会に行った。

2.2 展示会・見本市出展支援

2.2.1 エクステリアフェア 2016 in 九州

エクステリアフェア 2016 in 九州は、例年5月中旬に開催される九州唯一のエクステリア展示会である。プロユーザーからエンドユーザーまで約10,000人の来場がある。商圏は九州・山口、広島まであり、求評から商談まで、幅広く活用している。

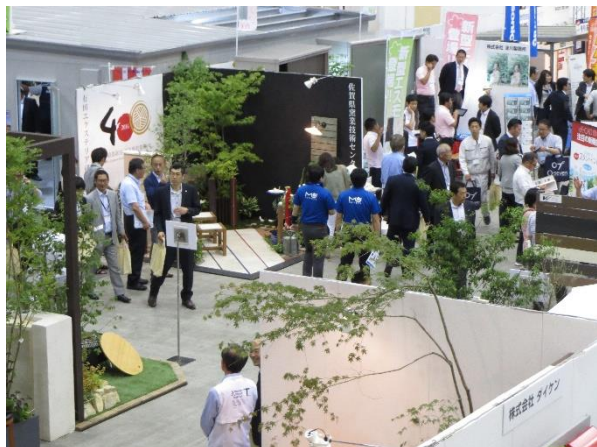


図14 エクステリアフェア 2016 in 九州.



図16 岩尾磁器工業株ブース.



図15 有田エクステリア研究会ブース.

2.2.3 チェルシーフラワーショー出展の再現

インターナショナルバルーンフェスタ 2016(世界選手権)会場内に Team SAGA によるチェルシーフラワーショー 2014 出展「ARITA」の再現を行った。



図7 チェルシーフラワーショー2014出展「ARITA」.

2.2.2 関西エクステリアフェア 2016

関西エクステリアフェア 2016は、例年6月初旬に開催される関西圏のエクステリア展示会である。九州よりも規模が大きく、商圏は関西を中心とし、中部から中国にまたがる。

来場者数は、例年 20,000 人ほどである。

九州での展示を踏まえ、関西バージョン(植栽担当デザイナーの意向に沿った形)で出展する。

3. まとめ

展示会をととしたエクステリアの市場からは、更なるアイテムの拡充が望まれている。

そのため、製品開発に向け、技術的な要素およびデザインから製品までの工程の要素において、支援の継続が要望されている。